

教育に関する事務の管理及び執行の状況の
点検及び評価報告書

～令和4年度事務実施事業～

二戸市教育委員会

令和5年第8回二戸市教育委員会定例会（令和5年8月21日議決）

目 次

第1	教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価	1
1	点検・評価制度の概要	1
2	点検・評価の実施	1
(1)	点検・評価する内容	1
(2)	議会への報告	1
(3)	市民への公表	1
第2	教育委員会の組織と活動	2
1	二戸市教育委員会の組織	2
2	教育委員会の活動	2
(1)	会議の開催回数	2
(2)	議決の状況	2
(3)	会議等開催内容	3~4
(4)	総合教育会議の開催内容	5
(5)	教育委員会の会議以外の活動状況	5
第3	二戸市教育振興基本計画に基づき令和4年度に実施した主な事業の取組実績	6
1	点検・評価制度の基準	6
2	二戸市教育振興基本計画の施策体系	6~8
3	事業の点検・評価	9~33

第1 教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価

1 点検・評価制度の概要

地方教育行政の組織及び運営に関する法律には、教育委員会はその権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表することが規定されています。

【参考】地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 点検・評価の実施

二戸市教育委員会では、令和3年2月に策定した二戸市教育振興基本計画（令和3年度～令和7年度）に掲載されている主要事業の施策区分別に、令和4年度における取組状況について、点検及び評価を行いました。

評価は、それぞれが分野の目的に沿った取り組みができているかどうかについて、担当課による自己評価（一次評価）を行い、その内容について学識経験を有する者の知見を活用（二次評価）して行います。

（1）点検・評価する内容

- ①令和4年度二戸市教育委員会の運営状況（活動内容）
- ②二戸市教育振興基本計画に基づき令和4年度に実施した主な事業の取組実績

（2）議会への報告

二戸市議会9月定例会へ報告書を提出します。

（3）市民への公表

市民への公表は、市議会へ報告後、教育委員会ホームページへの掲載により行います。

【二戸市教育行政に関する点検及び評価等検証委員会委員】（敬称略、順不同）

氏名	委員の区分
佐藤 洋子	二戸市立仁左平小学校評議員
荒川 優子	二戸市社会教育委員
黒澤 一史	二戸市文化財調査委員
小保内 悟	教育全般に学識経験を有する者

第2 教育委員会の組織と活動

1 二戸市教育委員会の組織

教育委員会は、二戸市立の小学校・中学校、図書館などの教育機関の設置、管理及び学校教育、社会教育、文化、スポーツ等に関する事務を担当する行政機関であり、市長が市議会の同意を得て任命した、教育長と4名の委員で構成されています。

教育長の任期は3年、委員の任期は4年で、再任も認められています。

教育長は、会務を総理し、教育委員会を代表します。また、教育委員会の権限に属する事務を処理するために、教育委員会に事務局が置かれています。

【二戸市教育委員会教育長及び委員】（令和5年3月31日現在）

職名	氏名	職歴等
教育長	鳩岡矩雄	元高等学校長
委員（教育長職務代理者）	槻館行男	元小学校長
委員	佐々木千穂	自営業
委員	荒谷直大	農業
委員	阿部歩	自営業

2 教育委員会の活動

教育行政の基本的な方針の決定や、諸課題の解決等の重要案件について審議し、諸事項についての意見・情報交換を行うため、毎月教育委員会定例会を開催するとともに、急を要する案件を処理するため、教育委員会臨時会を開催し、教育行政の適正な運営に努めました。

また、市長と教育委員会が教育施策の方向性を共有し、一致して執行に当たるための協議・調整の場として、総合教育会議を開催しています。

（1）会議の開催回数

- 定例会 12回
- 臨時会 2回
- 総計 14回

（2）議決の状況

- 教育委員会規則・規程等の制定・改廃 15件
- 教育機関の長・その他機関等の長の人事 5件
- 協議会・審議会委員等の任命・委嘱 9件
- 市議会提出議案への同意 6件

■ 教科書採択	2 件
■ その他	6 件
□ 総 計	43 件

(3) 会議等開催内容

会議名	月日	内 容
第 4 回 定例会	4. 25	<p>一般報告</p> <p>議案第 1 号 臨時専決処理に関し承認を求めることについて 二戸市放課後子ども教室実施要綱の一部を改正する告示</p> <p>議案第 2 号 臨時専決処理に関し承認を求めることについて 二戸市教育委員会規則で定める申請書等の押印の特例に関する規則</p> <p>議案第 3 号 臨時専決処理に関し承認を求めることについて 二戸市教育委員会告示で定める申請書等の押印の特例に関する告示</p> <p>議案第 4 号 臨時専決処理に関し承認を求めることについて 二戸市教育委員会訓令で定める申請書等の押印の特例に関する訓令</p> <p>議案第 5 号 二戸市社会教育委員の解嘱及び委嘱について</p> <p>議案第 6 号 二戸市シビックセンター運営協議会委員の解嘱及び委嘱について</p> <p>議案第 7 号 二戸市浄法寺文化交流センター運営委員の委嘱について</p> <p>議案第 8 号 二戸市公民館運営審議会委員の解嘱及び委嘱について</p> <p>議案第 9 号 二戸市立図書館協議会委員の解嘱及び委嘱について</p> <p>報告第 1 号 二戸市教育委員会の後援・共催等について</p>
第 5 回 定例会	5. 27	<p>一般報告</p> <p>議案第 1 号 二戸市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について</p> <p>議案第 2 号 市議会臨時会提出議案への同意について 専決処分の承認を求めることについて (令和 3 年度二戸市一般会計補正予算 (第 17 号)) 令和 4 年度二戸市一般会計補正予算 (第 2 号)</p> <p>報告第 1 号 二戸市教育委員会の後援・共催等について</p>
第 6 回 定例会	6. 24	<p>一般報告</p> <p>議案第 1 号 二戸市シビックセンター運営協議会委員の委嘱について</p> <p>議案第 2 号 二戸市芸術文化振興懇話会委員の委嘱について</p> <p>報告第 1 号 二戸市教育委員会の後援・共催等について</p>
第 7 回 定例会	7. 27	<p>一般報告</p> <p>議案第 1 号 令和 5 年度使用小学校教科用図書の採択について</p> <p>議案第 2 号 令和 5 年度使用中学校教科用図書の採択について</p> <p>報告第 1 号 二戸市教育委員会の後援・共催等について</p>
第 8 回 定例会	8. 29	<p>一般報告</p> <p>議案第 1 号 臨時専決処理に関し承認を求めることについて 令和 4 年度二戸市一般会計補正予算 (第 3 号)</p> <p>議案第 2 号 市議会定例会提出議案への同意について 令和 4 年度二戸市一般会計補正予算 (第 4 号)</p> <p>議案第 3 号 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について</p> <p>報告第 1 号 二戸市教育委員会の後援・共催等について</p>
第 9 回 定例会	9. 26	<p>一般報告</p> <p>議案第 1 号 二戸市芸術文化振興懇話会委員の委嘱について</p> <p>報告第 1 号 二戸市教育委員会の後援・共催等について</p>

会議名	月日	内 容
第10回 定例会	10.31	一般報告 報告第1号 二戸市教育委員会の後援・共催等について
第11回 定例会	11.30	一般報告 議案第1号 市議会臨時会提出議案への同意について 二戸市コミュニティセンター条例 (附則において二戸市公民館条例の廃止を含む) 令和4年度二戸市一般会計補正予算(第7号) 議案第2号 二戸市教育委員会表彰の受賞者について 報告第1号 二戸市教育委員会の後援・共催等について
第12回 定例会	12.23	議案第1号 臨時専決処理に関し承認を求めることについて 令和4年度二戸市一般会計補正予算(第8号) 報告第1号 二戸市教育委員会の後援・共催について
第1回 定例会	1.30	一般報告 議案第1号 文化財の指定について 報告第1号 二戸市教育委員会の後援・共催等について
第2回 定例会	2.10	一般報告 議案第1号 令和5年度教育施政方針要旨について 議案第2号 二戸市立公民館管理規則を廃止する規則 議案第3号 二戸市教育委員会組織規則の一部を改正する規則 議案第4号 二戸市教育委員会服務規程の一部を改正する訓令 議案第5号 二戸市教育委員会処務規程の一部を改正する訓令 議案第6号 二戸市教育委員会公印規程の一部を改正する訓令 議案第7号 二戸市放課後子ども教室実施要綱の一部を改正する告示 議案第8号 二戸市スポーツ推進委員に関する規則の一部を改正する規則 議案第9号 教育財産の用途廃止について 議案第10号 独立行政法人日本スポーツ振興センター災害共済給付に係る共済掛金 徴収規則 議案第11号 二戸市就学援助費支給要綱の一部を改正する告示 議案第12号 二戸市放課後子どもプラン実施要綱の一部を改正する告示 議案第13号 二戸市立図書館利用要綱の一部を改正する告示 議案第14号 市議会定例会提出議案への同意について 令和4年度二戸市一般会計補正予算(第10号) 令和5年度二戸市一般会計当初予算 報告第1号 二戸市教育委員会の後援・共催等について
第1回 臨時会	2.22	一般報告 議席の決定
第2回 臨時会	2.28	議案第1号 教育機関の長の人事について
第3回 定例会	3.20	一般報告 議案第1号 教育長の辞職の同意について 議案第2号 部課長等の人事について 議案第3号 教育機関の長の人事について 議案第4号 その他の教育機関の長の人事について 報告第1号 二戸市教育委員会の後援・共催等について

(4) 総合教育会議の開催内容

- 開催 1回 (令和4年10月31日)
- 審議内容 今年度及び今後の主な教育事業等について

(5) 教育委員会の会議以外の活動状況

- コロナ禍により、学校視察の機会は減少したが、学校公開研究会や学校の式典(入学式・卒業式)へ出席し、児童・生徒を激励するとともに、保護者・地域住民の様子を含めた学校全体の状況把握と情報収集を行いました。
- 定例会等の会議に付議すべき議案の事前説明やその他協議を要するものについて、教育委員会協議会を開催し、研究と審議を深めました。
- 教育振興運動集約集会・PTA研究大会や二戸市はたちのつどい、田中館愛橋博士没後70年記念講演会、相馬大作没後200年記念講演会、史跡九戸城跡追加指定記念講演会に参加し、教育行政の各分野における知見を深めました。

第3 二戸市教育振興基本計画に基づき令和4年度に実施した主な

事業の取組実績

1 点検・評価制度の基準

A :	・ 令和4年度に実施するものとした計画を、予定どおり完了した。 ・ 数値目標に対し、『100%以上』の実績となった。
B :	・ 令和4年度に実施するものとした計画を、概ね達成できた。 ・ 数値目標に対し、『80%以上 100%未満』の実績となった。
C :	・ 令和4年度に実施するものとした計画に、やや遅れがある。 ・ 数値目標に対し、『60%以上 80%未満』の実績となった。
D :	・ 令和4年度に実施するものとした計画に、かなり遅れがある。 ・ 数値目標に対し、『60%未満』の実績となった。

※コロナ禍により数値目標で評価できないものは、事業内容で評価する。また、事業を中止したものは評価を【-】とする。

2 二戸市教育振興基本計画の施策体系

基本理念・基本目標

学びの広がるまちづくり、未来を拓く人づくり

分野1 学校教育の充実

施策（1）コミュニティ・スクールの導入と推進

項目① 地域とともにある学校づくり

施策（2）学力向上の推進

項目① 新しい時代に求められる資質・能力を育む教育の推進

施策（3）豊かな心を育む教育の充実

項目① 豊かな人間性の育成とよい人間関係づくり

② 郷土理解教育の推進

③ 社会の変化に対応した多様な教育の推進

施策（4）健康・安全教育の推進

項目① 健康・安全教育の充実

② 学校給食の充実

施策（5）幼児教育・特別支援教育等の充実

項目① 幼児教育の支援と連携

② 特別支援教育の充実

③ 高等学校教育の充実

施策（6）教育環境の整備・充実

項目① 学習環境の充実

- ② 学校施設整備の推進
- ③ 経済的支援の充実
- ④ 通学支援の充実
- ⑤ 教職員の働き方改革の推進

分野2 社会教育の充実

施策（1）生涯を通じた多様な学習環境づくりの推進

- 項目① 多様なメディアを活用した生涯学習情報の発信
- ② 「学び直し」など市民の生涯学習活動の支援

施策（2）教育振興運動を基盤とした地域学校協働活動等による教育力の向上

- 項目① 教育振興運動の推進
- ② 地域学校協働活動の推進
- ③ 体験的・交流的活動の提供
- ④ 指導体制の充実

施策（3）社会教育施設的环境整備

- 項目① 公民館の整備・充実
- ② 図書館の整備・充実
- ③ シビックセンターの整備・充実

分野3 芸術文化の振興

施策（1）芸術文化の振興

- 項目① 芸術文化団体・郷土芸能保存団体への活動支援
- ② 芸術文化に親しむ機会の充実
- ③ 文化施設の整備・充実

施策（2）文化財の保護と活用

- 項目① 史跡九戸城跡の保護と活用
- ② その他の文化財の保護と活用

施策（3）郷土への誇りと愛着を深める地域文化の継承

- 項目① 歴史民俗資料の活用
- ② 市史編さん事業の促進

分野4 スポーツの推進

施策（1）ライフステージに応じたスポーツ活動の推進

- 項目① 生涯スポーツと健康づくりの推進
- ② 地域のスポーツ環境の整備

- ③ 多種・多様なスポーツ団体の育成
- 施策（２） 体育施設の環境整備
- 項目① 体育施設の整備・充実

3 事業の点検・評価

分野 1 学校教育の充実

施策 (1) コミュニティ・スクールの導入と推進		
項目	①地域とともにある学校づくり 【教育企画課】	
目的	令和4年度の実施状況	評価及び今後の方向性等
学校と地域が一体となった「地域とともにある学校づくり」の推進	<p>[継続]</p> <p>■学校運営協議会設置に係る支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内小中学校に対しコミュニティスクール実践事例の情報を提供した。 ・コミュニティスクールの運営が始まり、地域学校協働活動推進員を配置（小学校2校）した。 <p>■コミュニティ・スクールの実践交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教諭等の推進フォーラム参加 <p>【数値目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ・スクール導入校数 R3 : 11 R7 : 11 (R4達成率 100%) 	<p>◎評価 【 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内小中学校すべてにおいて学校運営協議会を設置し、うち2校に対し地域学校協働活動推進員の配置を行い、地域とともにある学校づくりが進められた。 <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校運営協議会の現状確認や地域学校協働活動推進員配置等を希望する学校への支援を行い、学校へ実践事例等の情報提供を行うことで地域とともにある学校づくりを推進する。 <p>【数値目標の実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ・スクール導入校数 R4 : 11 (R3実績値 8)

施策 (2) 学力向上の推進																																																														
項目	①新しい時代に求められる資質・能力を育む教育の推進		【教育企画課】																																																											
目的	令和4年度の取組状況		評価及び今後の方向性等																																																											
<p>児童生徒の資質・能力を育むために必要な研修を実施し、各校の教員が授業改善の方向性を明確にする</p> <p>児童生徒の資質・能力を育むために必要な事業を実施し、教員の授業力や指導力の向上を目指す</p> <p>児童生徒の資質・能力を育むため、各校が学力向上に向けた検証改善サイクルを実施し、組織的な取組を強化する</p>	<p>【継続】</p> <p>■東京学芸大学連携事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先進地視察研修 ・3年目教員研修（オンライン研修） ・道徳授業パワーアップセミナー（オンライン研修） ・理科教員研修 ・中学校数学科授業力向上研修 ・道徳授業力向上セミナー <p>■教育研究所事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学力向上委員会 ・幼小連携研修会 ・特別支援教育支援員研修会 ・公開講座 ・ICT教育プロジェクト会議 <p>■スクールタイアップ事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学力向上ヒアリング ・研究授業訪問 ・「まなびフェスト」の作成と評価 	<p>◎評価 【 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍のため、2つの研修をオンラインで実施したが、全ての事業を実施することができた。 ・先進地視察研修では、東京学芸大学附属小金井小学校・小金井中学校を訪問し、本市の課題であるICTの効果的な活用について理解を深めることができた。 ・中学校授業力向上研修では、東京学芸大学附属小金井中学校教諭を招いて、模範授業を行い、児童生徒の資質・能力を育むための教材研究のあり方について学ぶことができた。 ・ICTプロジェクト会議では、提案授業・模範授業を行い、児童生徒の資質・能力を育むためのICTの効果的な活用について理解を深めることができた。 ・学力向上ヒアリングを実施し、各小中学校の学力向上に向けた検証改善サイクルを振り返り、次年度に向けた組織的な取組について協議することができた。 <p>【今後の方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岩手県学習状況調査では、国語・算数・数学とも数値目標を達成できたが、全国学力学習状況調査においては、小学校算数で数値目標を達成することができなかった。課題である「知識及び技能」を活用した「思考力、判断力、表現力等」の力を育成するための授業改善に取り組みたい。 	<p>【数値目標の実績】</p> <p>国語</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価指標</th> <th rowspan="2">学年</th> <th colspan="2">実績値</th> <th rowspan="2">数値目標</th> </tr> <tr> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">全国学力・学習状況調査における国語の正答率の国を100とした二戸市の指標</td> <td>小6</td> <td>110</td> <td>106</td> <td>105</td> </tr> <tr> <td>中3</td> <td>101</td> <td>110</td> <td>101</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">岩手県学習状況調査における国語の正答率の県を100とした二戸市の指標</td> <td>小5</td> <td>116</td> <td>106</td> <td>105</td> </tr> <tr> <td>中1</td> <td>107</td> <td>102</td> <td>101</td> </tr> <tr> <td>中2</td> <td>108</td> <td>105</td> <td>102</td> </tr> </tbody> </table> <p>算数・数学</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価指標</th> <th rowspan="2">学年</th> <th colspan="2">実績値</th> <th rowspan="2">数値目標</th> </tr> <tr> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">全国学力・学習状況調査における算数・数学の正答率の国を100とした二戸市の指標</td> <td>小6</td> <td>100</td> <td>98</td> <td>102</td> </tr> <tr> <td>中3</td> <td>89</td> <td>109</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>小5</td> <td>110</td> <td>111</td> <td>110</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">岩手県学習状況調査における算数・数学の正答率の県を100とした二戸市の指標</td> <td>中1</td> <td>116</td> <td>117</td> <td>101</td> </tr> <tr> <td>中2</td> <td>136</td> <td>105</td> <td>105</td> </tr> </tbody> </table>		評価指標	学年	実績値		数値目標	R3	R4	全国学力・学習状況調査における国語の正答率の国を100とした二戸市の指標	小6	110	106	105	中3	101	110	101	岩手県学習状況調査における国語の正答率の県を100とした二戸市の指標	小5	116	106	105	中1	107	102	101	中2	108	105	102	評価指標	学年	実績値		数値目標	R3	R4	全国学力・学習状況調査における算数・数学の正答率の国を100とした二戸市の指標	小6	100	98	102	中3	89	109	100	小5	110	111	110	岩手県学習状況調査における算数・数学の正答率の県を100とした二戸市の指標	中1	116	117	101	中2	136	105	105
評価指標	学年	実績値		数値目標																																																										
		R3	R4																																																											
全国学力・学習状況調査における国語の正答率の国を100とした二戸市の指標	小6	110	106	105																																																										
	中3	101	110	101																																																										
岩手県学習状況調査における国語の正答率の県を100とした二戸市の指標	小5	116	106	105																																																										
	中1	107	102	101																																																										
	中2	108	105	102																																																										
評価指標	学年	実績値		数値目標																																																										
		R3	R4																																																											
全国学力・学習状況調査における算数・数学の正答率の国を100とした二戸市の指標	小6	100	98	102																																																										
	中3	89	109	100																																																										
	小5	110	111	110																																																										
岩手県学習状況調査における算数・数学の正答率の県を100とした二戸市の指標	中1	116	117	101																																																										
	中2	136	105	105																																																										

施策 (3) 豊かな心を育む教育の充実		
項目	①豊かな人間性の育成とよい人間関係づくり 【教育企画課】	
目的	令和4年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
<p>道徳教育について教員の指導力向上を図り、他人を思いやり良好な人間関係を築くことができる子どもを育てる</p> <p>一人ひとりに寄り添った相談・支援体制の充実を図る</p> <p>教育相談・支援体制を充実し、子どもたちが安心して学習し、学校生活を送ることができることを目指す</p>	<p>[継続]</p> <p>■道徳パワーアップセミナーの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オンラインでの研修となったが、2人（二戸西小・御返地小）の教員が参加した。 <p>■適応指導教室「おあしす」の運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不適応状況報告に対する学校の対応への指導や助言 ・「おあしす」利用者数（R4） 小学生0人、中学生3人 <p>■教育相談員の配置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育相談員学校訪問 ・相談件数 31件（児童生徒1件、保護者5件、教員14件、親子4件、行政4件、その他3件） ・適応指導教室のチラシを、学校に配布した他、市ホームページに掲載し、周知を図った。 <p>■学校生活アンケートの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6～7月に実施 ・校長会議での早期対応の助言 ・スクールソーシャルワーカー等による学校訪問や教育相談の実施 <p>【数値目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道徳授業で自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする学習活動に取り組んでいる児童生徒数の割合（%） <p>R3 小学校：95 中学校：95 R7 小学校：95 中学校：95 (R4達成率 93.5% 99.6%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不登校児童生徒数の割合（%） <p>R3 小学校：0.35 中学校：2.50 R7 小学校：0.35 中学校：2.50 (R4達成率 44.8% 39.8%)</p>	<p>◎評価 【 B 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修に参加し、これからの道徳教育の在り方、子どもに対する教員の関わり方などについて理解を深めることができた。 ・学校訪問を通して、不適応児童生徒の状況を把握し、適切な助言を行なうことができた。 ・欠席しがちな児童生徒や保護者、教員等からの相談に対応することができた。 ・児童生徒が安心して学習し、学校生活を送ることができるように、予防的な対応や長期化する児童生徒の対応について、学校と情報を共有し、今後の対策を考えることができた。 ・いじめの実態を把握するとともに、いじめの内容や各校の取組を校長会で共有した。各校の意識の向上といじめの早期発見に努めることができた。 <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も道徳授業パワーアップセミナーへは、オンラインで参加し、道徳教育の充実を図る。 ・不登校児童生徒数の実態を鑑み、個別の支援の充実を図るため、より積極的に早期発見、早期対応できるよう支援していく。 ・教育相談や適応指導教室について周知し、相談しやすい環境を整えることで、相談者の悩みを解消していく。 ・各校や関係機関と緊密に連携を図り、不適応児童生徒への継続した対応について支援していく。 <p>【数値目標の実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道徳授業で自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする学習活動に取り組んでいる児童生徒数の割合（%） <p>R4 小学校：88.9 (R3実績値 91.6) 中学校：94.7 (R3実績値 95.1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不登校児童生徒数の割合（%） <p>R4 小学校：0.78 (R3実績値 0.59) 中学校：6.27 (R3実績値 2.29)</p>

項目	②郷土理解教育の推進 【教育企画課】	
目的	令和4年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
<p>二戸市の先人、自然、歴史・文化等の学習を通し、郷土に対する理解を深め、愛着心や誇りを育むとともに、次代を担う人材の育成を目指す</p>	<p>[継続]</p> <p>■複数の教科等横断的な視点に立った郷土教育</p> <ul style="list-style-type: none"> 副読本「わたしたちの二戸市」を小学校3・4年生に配付し、社会科授業で活用した。社会科における資質・能力の育成を図った。 <p>■小学5・6年生の2年間を通した小学校副読本の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 副読本「二戸市の先人たち」を小学校5年生から配布し、2年間をかけて二戸市の先人について学んだ。 <p>■ふるさと探訪塾事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 小学校5・6年生を対象に計11回実施し、325人が参加した。 <ul style="list-style-type: none"> 【小学校5年生：天台寺】天台寺観光ボランティアガイドの会、滴生舎による学習 【小学校6年生：史跡九戸城跡】二戸市観光協会による学習 	<p>◎評価 【 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> 二戸市の地形、農業、商業、工業、公共施設等について学ぶことで、地域への関心を高めるとともに、資料を活用する力の育成につながった。 2年間で計画的に、副読本「二戸市の先人たち」を活用することで、郷土の先人に対する理解を深めることができた。 「ふるさと探訪塾」では、事前説明から学校と十分な連携を図り、授業の一環として地域の素晴らしさを知る機会を提供したことで、郷土教育を推進することができた。 <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和5年度に、副読本「わたしたちの二戸市」を全面改訂し、学習に活用できるよう進める。 小学校卒業時まで、副読本「二戸市の先人たち」について理解を深めることを目標に取り組む。また、「ふるさと探訪塾」と連携しながら、見学の事前学習や事後学習等に生かすように働きかける。 「ふるさと探訪塾」は、子どもたちが自然、歴史・文化等を学ぶ機会を設定し、興味・関心をもって楽しみながら取り組むことができるメニューの提供に努める。
項目	③社会の変化に対応した多様な教育の推進 【教育企画課】	
目的	令和4年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
<p>国際社会において、主体的、積極的に協働していくことができるよう、コミュニケーション能力の向上を図りながら、国際感覚を有する人材の育成を図る</p>	<p>[継続]</p> <p>■キャリア教育推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 職場訪問など体験的な学習の充実に向けた学校への支援及びキャリアパスポートを配付した。 <p>■小中学校へのALT講師の派遣、小学校への英語教育アドバイザーの派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> ALT2人、英語教育アドバイザー1人を配置し、市内小中学校を巡回して英語教育を支援した。 <p>■中高生海外派遣研修事業</p> <ul style="list-style-type: none"> コロナ禍により中止した。 <p>■中学生異文化交流事業</p> <ul style="list-style-type: none"> コロナ禍により中止した。 	<p>◎評価 【 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> キャリア教育については、職場訪問などを通じて、職業に対する興味や関心を深めることができた。また、コロナ禍により中高生海外派遣研修事業及び異文化交流事業は中止としたものの、英語教育アドバイザーの配置、巡回により教員の英語活動を支援することで、円滑な授業を行うことができた。 <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> 中高生海外派遣研修及び中学生異文化交流事業については、事業目的を踏まえたうえで実施の在り方を検討する。また、キャリア教育については、中学校の職場体験2日以上、事後指導5時間以上の継続実施に努める。

施策 (4) 健康・安全教育の推進		
項目	①健康・安全教育の充実 【教育企画課】	
目的	令和4年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
児童生徒が健康や運動、食事に関心をもち、健康的な生活習慣と運動習慣を身に付ける	<p>[継続]</p> <p>■感染症対応</p> <ul style="list-style-type: none"> 家庭や学校と連携し、児童生徒の感染予防と感染状況の把握を行った。 <学級等閉鎖件数> ○新型コロナウイルス感染症による閉鎖：12件 ○季節性インフルエンザによる閉鎖：8件 <p>■学校保健の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 疾病の早期発見、早期治療のため、内科検診、歯科検診、尿検査等を実施した。 学校環境衛生検査の実施により、学校環境を把握し改善した。 学校と医療機関、行政の連携により、健康に関する指導方法の協議を行った。 二戸地区学校医連絡協議会において、医療機関、学校、各教育委員会、保健師、栄養士により構成する小委員会を設置し、二戸地区全体の肥満に関する分析とその対応を研究した。 <p>【数値目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 肥満傾向児童生徒の割合(%) 小4 R3：13.8 R7：11.8 (R4達成率 83.6%) 中1 R3：13.3 R7：11.3 (R4達成率 62.4%) 	<p>◎評価 【 B 】</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の感染予防に取り組むとともに、学校医等との連携により感染状況を見極め、学級閉鎖等の適切な対応を行ったことで、連鎖的な感染拡大を防ぐことができた。 医療機関等との連携により、地域全体で児童生徒の健康を維持・増進するための取組を実施することができた。また、肥満対策については、中学校の肥満傾向児の割合は依然高いものの、園（保育所）・学校・医療機関・保護者等が一体となり対策を推進した。 <p>【今後の方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> コロナ禍で得たノウハウを生かし、引き続き感染予防に配慮しつつ、教育・健康活動の充実を目指し様々な取組を推進する。 学校と医療機関等との連携を密にして、地域全体で健康教育の推進に努める。また、肥満対策については、学校・医療機関・保護者等が改善に向けて取り組む必要があることから、学校における児童生徒への教育、各種検診を進めるほか、研究大会などの場を通じて、保護者への健康教育を推進する。 <p>【数値目標の実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 肥満傾向児童生徒の割合(%) 小4 R4：14.1 (R3実績値 17.4) 中1 R4：18.1 (R3実績値 13.1)
児童生徒の安全安心な学校生活の確保と安全教育を推進する	<p>[継続]</p> <p>■安全教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 二戸市通学路交通安全プログラムについて、対策箇所の解消に向け通学路の点検、確認を行った。また、保護者に対しアンケート調査を実施し、対策箇所に関して実態を把握した。 スクールガードによる地域の見守りを実施した。 各学校で交通安全教室を実施し、児童生徒が自ら安全に行動できるよう交通ルールや自転車の安全運転等の指導を行った。 	<p>◎評価 【 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> 通学路の安全を継続的に確保するため、関係機関と連携し、対策の内容確認と対策実施後の効果把握を行い、安全確保の充実を図ることができた。 <p>【今後の方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 取組を継続することで、児童生徒に交通安全についての意識の定着を促すとともに、通学路の安全確保のため、関係機関や地域と連携し、危険箇所や注意箇所の把握に努める。

項目	②学校給食の充実 【学校給食センター】	
目的	令和4年度の実施状況	評価及び今後の方向性等
<p>食に関する指導のさらなる充実を図り、望ましい食習慣と健全で豊かな食生活を実践する力を習得させる</p> <p>学校給食に地場産物を使用することにより、地域の自然や文化、産業等に関する理解を深め、生産者や食材への感謝の気持ちを育む</p>	<p>[継続]</p> <p>■栄養教諭による食に関する指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栄養教諭における食に関する指導を実施した。 <p>食に関する指導、給食訪問 46回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産者との交流給食は、生産者へのインタビューをDVDにし、給食時に視聴する形で実施した。 ・毎月配布する「二戸（にこ）食だより」や「こんだてのおしらせ」を活用し、食の正しい知識や食習慣の普及を図った。 <p>■オール二戸食材の日（年1回）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・献立に用いる食材のすべてに地場産物を利用した給食を提供した。 <p>【実施日】 令和4年10月14日</p> <p>【献立内容】</p> <p>雑穀ごはん 揚げ鶏の足沢みそがけ 生きくらげの甘酢あえ ふるさと二戸秋のけんちん汁 りんご 二戸ブルーベリー入り飲むヨーグルト</p> <p>■食育の日（毎月19日）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・肥満予防の取り組みとして、よく噛むことを意識した「かみかみ献立」を提供した。 <p>■二戸（にこ）食の日（毎月25日）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒が郷土への関心や、自然や生産者への理解を深めるよう、地場産物や郷土料理を取り入れた献立を提供した。 <p>■地場産物の活用（市農林課連携事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市農林課から、市内産食材購入費用の一部補助や、市内産食材の紹介を受けるなど、連携し地産地消に取り組んだ。 <p>■物価高騰への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物価高騰に係る食材費の値上げに対し、一般財源からの補填により給食費を据え置き、保護者の負担を増やさないよう努めた。 ・食材の多くが値上がりする中で、食材の選定や調理、献立の工夫により栄養基準を満たし、給食の質を維持した。 	<p>◎評価 【 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栄養教諭による食に関する指導や肥満に関する個別面談を通し、児童生徒や保護者に正しい食事の知識や食習慣について理解を深めることができた。 ・各取組により、地産地消の推進、地域の豊かな食材を通じた生産者への感謝の気持ちや郷土への理解を深めることができた。 ・物価高騰の影響を受けながらも、一般財源の補填により給食費を据え置き、栄養基準を満たし質を維持した給食が提供できた。 <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、食に関する指導の充実を図るとともに、「二戸（にこ）食だより」や「こんだてのおしらせ」を活用し、生産者の紹介などを通して地産地消の意義を学び、食に関する正しい知識と食習慣の普及に努める。

施策 (5) 幼児教育・特別支援教育等の充実 【教育企画課】		
項目 ①幼児教育の支援と連携		
目的	令和4年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
<p>関係部局と連携を図り、幼児及びその保護者に対する相談や支援を充実する</p> <p>小学校生活へ円滑に適應できるよう、情報共有と相互理解が図られる体制を構築する</p>	<p>[継続]</p> <p>■ 幼小連携推進会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 5歳児発達相談へ教育相談員を派遣し、保護者向けの就学に関する説明を行った。 ・ 社会福祉協議会「早期発達相談」や発達支援センター「風」へ職員を派遣し、「就学に向けて」の講義を行った。 <p>■ 幼小連携研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 幼小連携研修会の在り方について協議し、スタートカリキュラムやアプローチカリキュラムの周知を図った。 ・ 市内保育所において、保育参観を実施した。 ・ 小学校生活への円滑な接続のため、幼児連絡票を就学时検診に活用した。 	<p>◎ 評価 【 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者に対し、教育相談員からの説明を実施することで、就学に向けた意識を醸成するとともに、子どもへの関わり方についての理解を深めることができた。 ・ 早期発達相談や発達支援センターでの学習会で就学に向けての講義を行ったことにより、就学相談につなげることができた。 ・ 幼小連携研修会では、子どもに付けたい力を確認し、小学校のスタートカリキュラム、園のアプローチカリキュラムについて協議を行うことができた。 ・ 保育参観を実施し、幼小で幼児教育についての指導や支援の仕方を学ぶことができた。 <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 認定こども園や保育所等で開催される保護者学習会等があれば、職員の派遣を行う。 ・ 「幼児教育」「小学校教育」相互に活動場面や実際の授業の参観を通して「学びの進め方の違い」についての理解を更に深め、二戸市の接続カリキュラムの改善につなげる。 ・ 県の「いわて幼児教育センター」と連携を図り、幼児教育と小学校教育の円滑な接続に努める。

項目 ②特別支援教育の充実 【教育企画課】								
目的	令和4年度の取組状況	評価及び今後の方向性等						
<p>特別な支援を要する児童生徒が安心して学校生活を送ることができるよう、支援員を配置し、体制の充実を図る</p> <p>児童生徒の状況に応じた学習環境の整備やきめ細やかな支援の在り方の検討を通して、支援の充実を図る</p>	<p>[継続]</p> <p>■特別支援教育支援員の学校への配置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育支援員14人を、小学校5校、中学校1校に配置し、特別な支援を要する児童生徒に対し、きめ細やかな支援を行った。 <p>■教育支援委員会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別な支援を要する児童生徒一人ひとりについて、望ましい学習環境や支援の在り方を検討するために年3回開催した。(対象者200人) ・各学校で実際に指導に当たる特別支援教育コーディネーターや特別支援学級担任からなる「教育支援委員会実務者会議」を開催し、児童生徒の情報を収集するとともに、支援の方向性について検討した。 <p>■認定こども園、保育所等への就学前の訪問</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員が市内の認定こども園、保育所、関係施設を訪問し、就学支援に向けた参観と情報交換を行った。(保育所3か所、こども園4か所、発達支援センター「風」を訪問) 	<p>◎評価 【 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別な支援を要する児童生徒への支援の充実だけでなく、学級全体の円滑な運営にも貢献することができた。 ・就学予定児に対して、関係機関や専門委員との連携により、早い時期からの相談を実施したことで、望ましい就学先を決定することができた。 ・教育支援委員会実務者会議を実施したことで、増加している対象児童生徒についての支援の方向性について検討することができた。 ・職員の訪問により、スムーズな就学支援を行うことができた。 <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒一人ひとりの状況に応じた適切な支援の実施と円滑な就学支援や学級運営のために、これまでの取組を継続することで、児童生徒及び学校の状況把握に努める。 						
項目 ③高等学校教育の充実 【教育企画課】								
目的	令和4年度の取組状況	評価及び今後の方向性等						
<p>生徒から選ばれる魅力ある学校づくりのための市内高等学校等との連携</p>	<p>[継続]</p> <p>■市内高等学校の魅力化の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報にのへによる市内高校特集の連載 ・市内全中学生への高校特集ページの別刷り配付 ・福岡工業高校キャンパスツアーの実施 ・学校パンフレット製作への補助 ・岩手県に対する要望活動 ・市内高等学校通学費補助(内訳) <table border="0"> <tr> <td>福岡高等学校</td> <td>62人</td> <td>3,844千円</td> </tr> <tr> <td>福岡工業高等学校</td> <td>60人</td> <td>3,247千円</td> </tr> </table>	福岡高等学校	62人	3,844千円	福岡工業高等学校	60人	3,247千円	<p>◎評価 【 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たに通学費補助を行うことで、保護者の経済的負担の軽減に繋がったほか、市内高等学校や関係者等と連携し、生徒から選ばれる学校づくりを支援することができた。 <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内高等学校の魅力を高める取り組みについて支援を行い、入学者の増加につなげる。
福岡高等学校	62人	3,844千円						
福岡工業高等学校	60人	3,247千円						

施策 (6) 教育環境の整備・充実		
項目 ① 学習環境の充実 【教育企画課・図書館】		
目的	令和4年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
教育の情報化に対応した情報活用能力の育成を目指した学習活動の推進	<p>[継続]</p> <p>■ G I G A スクール推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・持ち帰り用充電器を全児童生徒に貸与した。 ・モバイルルーターを希望する世帯に貸与した。 	<p>◎評価 【 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ G I G A スクール構想の実現に向けた環境を整備し、教育環境の向上が図られた。 <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整備した I C T 機器を活用するために研修を行い、情報教育の推進を図るとともに、主体的・対話的で深い学びの実現を目指す。
幼児期から本に親しむ機会や環境を整えることで、読書意欲の向上及び読書習慣の定着を図る	<p>[継続]</p> <p>■ 図書に親しむまち推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブックスタート(10か月児)乳児112人に絵本を贈呈した。 ・おはなしデビュー(3歳児)幼児125人に絵本を贈呈した。 ・市内全小中学生に、希望する図書を贈呈した。(小1,042冊、中573冊：計1,615冊) ・学校図書館支援員(2人)の配置により、各小中学校の巡回訪問を行い、蔵書の管理、図書室の環境整備の支援等を実施した。 ・新聞に親しむよう小学校5・6年生にこども新聞、中学校3年生に一般紙を配布した。 	<p>◎評価 【 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10か月児と3歳児に絵本の贈呈を実施し、図書に親しむ機会を提供することができた。 ・児童生徒へ図書の贈呈を行うとともに、学校図書館支援員の配置により学校図書室の環境を整備した。また、学校図書標準冊数については、数値目標を達成し、読書意欲の向上や読書習慣の定着につながった。 ・こども新聞や一般紙の配付により、社会への関心が高まり、国内外の社会の動きに目を向ける児童生徒が多くなった。また、新聞記事をきっかけとして親子の会話が増えた、という声も聞かれた。 <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中止していた10か月児対象の読み聞かせを令和5年度より再開し、本を通じた親子の触れ合いの大切さと本の楽しさを伝え、読書習慣の定着を目指す。
教育備品等の整備により授業の効率化を図り、児童生徒の確かな学力を育成する	<p>[継続]</p> <p>■ 小中学校教材備品整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領改訂に伴い、学習指導要領のポイントである観察、実験を重視した理科教育の実現に向けて、環境整備を実施した。 	<p>◎評価 【 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各小中学校に聞き取りを行い、理科教育の実現のために必要な観察、実験装置の整備を行った。 <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各小中学校の観察・実験を重視した理科教育の実現のために必要な観察・実験装置を整備する。
項目 ② 学校施設整備の推進 【教育企画課】		
目的	令和4年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
計画的な改修により施設の安全確保と長寿命化を図る	<p>[継続]</p> <p>■ 小中学校リフレッシュ事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二戸西小学校消防設備改修工事 ・石切所小学校受変電設備改修工事 ・浄法寺小学校外壁木部塗装改修工事 ・仁左平小学校消防設備改修工事 ・浄法寺中学校給油設備改修工事 	<p>◎評価 【 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・改修工事等を計画どおりに実施し、児童生徒の安全かつ快適な教育環境を確保することができた。 <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画的な改修に努める。

項目 ③経済的支援の充実 【教育企画課】		
目的	令和4年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
経済的理由による教育の格差が生じないよう、就学支援や育英資金制度により教育の機会均等を確保する	<p>[継続]</p> <p>■就学支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 要保護及び準要保護児童生徒（256人・16.5%）の保護者に対して就学に必要な経費の一部を援助した。 随時、申請を受け付け、必要な援助を受けられる環境を整えた。 令和5年度新入学児童生徒への学用品費の入学前支給を実施した。 	<p>◎評価 【 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> 援助が必要と認められる児童生徒の保護者に対し適切に援助を行い、経済的負担軽減と教育の機会均等の確保につなげることができた。 <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校と連携し、保護者へ制度の周知を図りながら、適切に支援を行う。
経済的理由により修学が困難な者に対して、修学の機会を確保する	<p>[継続]</p> <p>■育英資金貸与事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 高校7人、大学等41人、計48人に貸与した。 就業者に対する返還の免除件数 市内に住所を有し、市内で就業する者 12件 市内に住所を有し、市外で就業する者 5件 	<p>◎評価 【 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和4年度より返還免除の制度を拡充したことにより、市内への就業や定住の促進につながった。 <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> 貸与希望者に対する円滑な貸与を行うとともに、返還金の滞納者に対し納付に向けた働きかけを行う。また、返還免除制度の拡充を周知し、貸与生の定住化を促進する。
項目 ④通学支援の充実 【教育企画課】		
目的	令和4年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
遠隔地から通学する児童生徒の保護者に対し、スクールバス等の運行や通学費の補助をすることで、経済的負担の軽減を図る	<p>[継続]</p> <p>■遠距離通学者への支援の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童生徒を輸送するスクールバス等を運行した。 浄法寺地区のスクールバス1台を更新した。 公共交通機関を利用する遠距離通学者等への補助を実施した。 	<p>◎評価 【 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> 遠距離通学等の児童生徒の保護者に対し必要な支援を行ったことで、負担軽減へとつながった。 <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> スクールバスの運行及び通学費補助を継続する。また、老朽化したスクールバスの更新を計画的に行う。
項目 ⑤教職員の働き方改革の推進 【教育企画課】		
目的	令和4年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
教育の質の向上を図るため、教職員が働きやすい環境を整備し、心身ともに健康を維持できる安全衛生管理に取り組む	<p>[継続]</p> <p>■働き方改革の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 教職員働き方改革プランを策定した。 勤怠管理システムにより教職員の勤務時間の適正管理と業務の改善に取り組んだ。 中学校部活動運営方針に基づき部活動を実施した。 時間外勤務が80時間/月以上の教職員に対する産業医による面接指導の体制を整備した。 	<p>◎評価 【 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> 中学校部活動運営方針に基づいた部活動指導を行うとともに、システムで勤怠管理することで、適正な勤務時間管理と業務改善が図られた。 <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き、学校で勤怠管理システムにより教職員の勤務時間の適正管理と業務改善を行う。 中学校部活動について現状把握と課題整理を行い、地域移行を進めていくことで教職員が働きやすい環境を整備していく。

分野2 社会教育の充実

施策 (1) 生涯を通じた多様な学習環境づくりの推進																							
項目	①多様なメディアを活用した生涯学習情報の発信	【生涯学習課】																					
目的	令和4年度の取組状況	評価及び今後の方向性等																					
生涯学習情報の収集及び提供による生涯学習の普及啓発	<p>[継続]</p> <p>■生涯学習の普及啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報にのへやホームページ、カシオペアFMを活用し、放送大学をはじめ各種講座について情報提供した。 	<p>◎評価 【 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複数媒体による情報提供により市民の講座への参加を促し、生涯学習の普及啓発を図ることができた。 <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、ホームページやカシオペアFMなど多様なメディアを活用した生涯学習の普及啓発に努める。 																					
項目	②「学び直し」など市民の生涯学習活動の支援	【生涯学習課・図書館】																					
目的	令和4年度の取組状況	評価及び今後の方向性等																					
放送大学岩手学習センター二戸校の周知や利用環境の整備を図り、市民が気軽に立ち寄れる学習拠点としての活用	<p>[継続]</p> <p>■放送大学岩手学習センター二戸校の周知・環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報にのへに入学生募集や大学説明会の案内を2回掲載した他、ホームページやカシオペアFMにより周知した。 ・DVDやCDで視聴できる外国語科目の充実に努めた。 二戸校利用者数：延べ55人 	<p>◎評価 【 B 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者数は昨年度に比べ減少したが、広報掲載月には新規の利用がみられるなど、利用促進が図られた。 <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報にのへやホームページなど複数媒体による周知を継続し、認知度の向上に努めるとともに多様な科目を配架し、利用者の関心を高めるよう努める。 																					
生涯にわたり、幅広く学習できるよう各種講座の充実と社会の変化に対応した学習機会の提供	<p>[継続]</p> <p>■多様な学習ニーズに応える講座の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報にのへ、カシオペアFM、SNSなどを活用し講座や教室の周知を図った。 ・各年代（少年、一般、高齢者）に応じた講座や教室を実施した。 ・高齢者のための講演会：100人 ・大人の社会科見学：16人 ・公民館講座 <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">82回</td> <td style="text-align: right;">1,743人</td> </tr> <tr> <td>少年：習字、お菓子作り等</td> <td style="text-align: right;">454人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般：アロマ、体操、創作等</td> <td style="text-align: right;">640人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>高齢者：寄席、脳トレ、運動等</td> <td style="text-align: right;">649人</td> <td></td> </tr> </table> <p>(各公民館内訳)</p> <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>二戸中央コミュニティセンター</td> <td style="text-align: right;">42回</td> <td style="text-align: right;">843人</td> </tr> <tr> <td>金田一コミュニティセンター</td> <td style="text-align: right;">30回</td> <td style="text-align: right;">746人</td> </tr> <tr> <td>浄法寺カシオペアセンター</td> <td style="text-align: right;">10回</td> <td style="text-align: right;">154人</td> </tr> </table> ・文化祭の実施と各種サークルへの支援を行った。 ・二戸中央コミュニティセンターのフリースペースの一部をギャラリーとして設置。各サークルの作品展示を行った。 		82回	1,743人	少年：習字、お菓子作り等	454人		一般：アロマ、体操、創作等	640人		高齢者：寄席、脳トレ、運動等	649人		二戸中央コミュニティセンター	42回	843人	金田一コミュニティセンター	30回	746人	浄法寺カシオペアセンター	10回	154人	<p>◎評価 【 B 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活に必要な知識や技能の習得、教養を身につける学習機会の提供により、幅広い世代の学びにつながった。 <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、学習ニーズの把握に努め、市民が受講しやすい環境整備に努めるほか、豊かな地域コミュニティづくりに資するよう、住民相互や幅広い世代が交流できる事業を展開する。 ・市民の創作活動を披露する場を提供しながら、文化芸術に親しむ場の整備に努める。
	82回	1,743人																					
少年：習字、お菓子作り等	454人																						
一般：アロマ、体操、創作等	640人																						
高齢者：寄席、脳トレ、運動等	649人																						
二戸中央コミュニティセンター	42回	843人																					
金田一コミュニティセンター	30回	746人																					
浄法寺カシオペアセンター	10回	154人																					
次世代の育成や地域課題に取り組む社会教育団体へ支援を行い、地域の社会教育活動の推進につなげる	<p>[継続]</p> <p>■社会教育団体への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動した1団体に対し補助金を交付した。 浄法寺ユネスコ協会 ・活動に対する相談などへ対応した。 	<p>◎評価 【 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会教育団体への補助金交付により、地域の社会教育活動を支援することができた。 <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会教育団体の活動状況把握に努めるとともに、継続して支援を行う。 																					

施策 (2) 教育振興運動を基盤とした地域学校協働活動等による教育力の向上		
項目 ①教育振興運動の推進 【生涯学習課】		
目的	令和4年度の実施状況	評価及び今後の方向性等
家庭・学校・地域の連携を深め、家庭・地域の教育力向上に努める	<p>[継続]</p> <p>■各実践区における家庭教育学級の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> 全実践区（全小中学校）において、家庭教育に関する幅広い内容で「家庭教育学級」を開催した。 <p>■「家庭教育の手引き」の発刊</p> <ul style="list-style-type: none"> 小学校1年生から中学校3年生までの子どもの発達段階に応じた家庭での家庭学習、生活、読書など学習環境づくりを具体的に紹介する手引きを、市内の全児童生徒の保護者に配布するとともに、ホームページに掲載した。 <p>■教育振興運動集約集会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> 家庭・学校・地域・行政が取り組んでいる子どもを中心とした実践区の活動状況の発表を行った。また、親子関係のあり方や保護者の関わりに関する講演を実施した。 <p>【数値目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 家庭教育学級開催数(回) R3: 44 R7: 44 (R4達成率 75.0%) 	<p>◎評価 【 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各実践区（各学校）が主体となり家庭教育に活かせる様々な学びの機会の提供し、教育力の向上につなげることができた。 「家庭教育の手引き」の配布とホームページへの掲載により、家庭教育での活用につながった。 実践区の発表を行うことで活動への理解を深めるとともに成果や課題を共有し子育てへの意識が高まった。 <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後も各実践区と連携しながら学びの機会を提供するとともに子どもの育つよりよい環境づくりに努める。 <p>【数値目標の実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 家庭教育学級開催数(回) R4: 延べ33 (R3実績値 延べ23)
項目 ②地域学校協働活動の推進 【生涯学習課】		
目的	令和4年度の実施状況	評価及び今後の方向性等
「学校を核とした地域づくり」を目指し、地域学校協働活動を推進する。	<p>[継続]</p> <p>■地域学校協働本部の設置</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域学校協働活動統括推進員や地域学校協働活動推進員を配置し、地域住民や団体と連携して事業を行うことで「学校を核とした地域づくり」を推進した。 <p>地域学校協働活動推進員設置校：2校 (福岡小、仁左平小)</p>	<p>◎評価 【 B 】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域学校協働活動統括推進員1名と地域学校協働活動本部を設置した2校で、地域学校協働活動を推進し、コミュニティ・スクールとの連携を図ることで、学校・家庭・地域の活性化につなげることができた。 <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> より多くの児童生徒が様々な学びを体験できるよう、地域学校協働活動推進員の配置や各種団体と連携した活動の実施に努める。

項目	③体験的・交流的活動の提供 【生涯学習課】	
目的	令和4年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
<p>将来を見据え、大きな志を持って自己実現と社会貢献を目指す青少年の育成</p>	<p>[継続]</p> <p>■槻蔭舎きぼう塾事業（対象：中学生）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学訪問や郷土史講演、移動学習、郷土を知る講座など、3講座を実施した。 <p>【大学訪問「大学探訪in岩手県立大学」】 内容：大学概要説明、ミニ講義、キャンパスツアー 参加者：14人（うち保護者3人）</p> <p>【移動学習「南極探検！氷の世界から学ぶ地球」】 内容：講義「南極大陸講座」 （岩手日報社 編集局国際部長） 参加者：8人（うち保護者2人）</p> <p>【春風亭昇太師匠 三たび九戸城を語る】 内容：曲芸、落語、九戸城講話 参加者：約680人（市内全中学生、教育関係者）</p> <p>■ジュニア槻蔭舎きぼう塾（対象：小学生）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国立科学博物館で田中館愛橋博士ゆかりの展示品や貴重なコレクションを見学した。 <p>【国立科学博物館（常設展・特別展）見学】 参加者：12人</p>	<p>◎評価 【 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・槻蔭舎きぼう塾では3事業を実施。それぞれの事業参加者の感想から、自身の学びや気づきが増え、郷土理解と進路実現の機会を提供することができた。 ・ジュニア槻蔭舎きぼう塾では、優れた芸術や科学等にふれることで知的関心を高め、主体的な学びや豊かな心を育む機会を提供することができた。 <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・郷土の魅力を認識し、自己の成長や生まれ育った地域の発展に貢献しようとする人材の育成につながる講座の実施に努める。
<p>子どもたちが安心して活動できる場の確保と、日常の中で多くの人と関わり、体験的・交流的活動を行う機会を提供する</p>	<p>[継続]</p> <p>■放課後子ども教室の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放課後子ども教室を市内6か所で延べ987日開設し、延べ12,901人が利用した。（申込者数：215人） ・中央小学校の「みなわ子ども教室」と二戸西小学校の「斗米地域子ども教室」は、児童クラブとの一体型として実施した。 ・釜石シーウェイブスRFCによるラグビー体験交流会を開催した。 ・指導者対象の研修会を1回開催した。 <p>【数値目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験・交流イベントの参加児童満足度（%） R3：90 R7：90（R4達成率 104.4%） 	<p>◎評価 【 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが安全で自主的な活動ができる居場所として、地域の方々や学校と連携しながら放課後子ども教室を開設・運営し、日常的に学年などを越えた交流や学習・スポーツ体験の機会を提供することができた。 ・申込者が教室に満足している割合は90.0%であり、子どもが安心して活動できる場所が構築できていることを確認できた。 <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、地域の方々の参画を得ながら学校と連携し、幅広い体験・交流活動ができる場の確保に努める。 <p>【数値目標の実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験・交流イベントの参加児童満足度（%） R4：94（R3実績値 ー）

項目	④指導体制の充実 【生涯学習課】	
目的	令和4年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
社会教育事業の推進を図るための専門職員配置及び、社会教育に関わる職員の資質向上	<p>[継続]</p> <p>■専門職員の配置</p> <ul style="list-style-type: none"> 社会教育主事や社会教育指導員を配置し、公民館講座をはじめ、教育振興運動、地域学校協働活動などへの指導助言を行った。 社会教育に関わる研修案内を行い、学校関係者、社会教育、家庭教育関係者、職員等に各種研修への参加を促した。 <p>【数値目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 県立生涯学習推進センター研修参加者数(人) R3 : 27 R7 : 30 (R4達成率 150.0%) 	<p>◎評価 【 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> 県立生涯学習推進センターのほか、県北教育事務所や県社会教育連絡協議会等関係機関の研修会に参加し、知識の習得や資質向上が図られた。 <p>【今後の方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 社会教育に関する専門的助言及び指導を行うため、専門職員の資質向上に努める。 <p>【数値目標の実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 県立生涯学習推進センター研修参加者数(人) R4 : 45 (R3実績値 28)

施策 (3) 社会教育施設的环境整備		
項目 ①公民館の整備・充実 【公民館】		
目的	令和4年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
施設整備の方向性を検討し、施設の効率的な利活用に努める	<p>[継続]</p> <p>■施設の計画的改修</p> <ul style="list-style-type: none"> 各公民館において施設点検を実施し、修繕や備品整備を行った。 <p>【二戸中央コミュニティセンター】</p> <p>備品整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ピクチャーレール プロジェクター 展示用パネル <p>【金田一コミュニティセンター】</p> <ul style="list-style-type: none"> 下水道接続工事 オイルタンク防油堤修繕 非常用照明修繕 女子トイレ便座交換修繕 プロジェクターランプ交換修繕 体育館ステージ下収納扉修繕 <p>【カシオペアセンター】</p> <ul style="list-style-type: none"> 暖房設備修繕 自動ドア修繕 <p>■地域活動の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 町内会等のまちづくり活動の相談に応じるなど地域のニーズに対応した支援を行った。 	<p>◎評価 【 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設点検を実施し、改修工事や修繕を行い、市民の生涯学習環境を整えることができた。 まちづくり事業の窓口として相談に対応し、地域活動の支援を行うことができた。 新たな備品整備で設備の充実を図り、利用者の多様化するニーズに応えることができた。 <p>【今後の方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設点検を実施し、施設の修繕を進め、安全で利用しやすい環境づくりに努めるとともに、地域コミュニティの拠点として、多様化するニーズに対応できる施設運営に努める。
項目 ②図書館の整備・充実 【図書館】		
目的	令和4年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
市民の学習活動の支援及び学校と連携した読書活動の充実を図る	<p>[継続]</p> <p>■学校と連携した学習活動支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 図書館見学受入 市内小学校6校 ブックツアー受入 市内小学校1校(3回) 移動図書館車での定期巡回の実施 学校への参考図書の出借(随時) こども司書講座の実施 <p>■施設の計画的改修</p> <ul style="list-style-type: none"> 移動図書館車更新 受水槽マンホール蓋取替修繕 手洗自動水栓取替修繕 非常用照明設備修繕 光電式煙感知器2種交換 冷温水発生器燃焼部品交換 玄関前タイル修繕 <p>【数値目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 貸出冊数(冊) <p>市立図書館</p> <ul style="list-style-type: none"> R3: 91,500 R7: 92,000 (R4達成率 89.9%) <p>カシオペアセンター図書室</p> <ul style="list-style-type: none"> R3: 5,400 R7: 5,500 (R4達成率 92.1%) 	<p>◎評価 【 B 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ブックツアーや図書館見学は、児童が図書館を知るきっかけとなり、たくさんの本に触れ、図書館の魅力を伝えることができた。 施設設備の更新と経年劣化や修繕箇所に対応し、維持管理することができた。 <p>【今後の方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 図書館車のイベント等での活用について検討する。 図書の選書や見学受入等、学校との連携をとり児童の読書活動の推進を図る。 市民のニーズに対応した蔵書の充実に努める。 施設設備等の計画的な更新と修繕により、利用環境を整える。 <p>【数値目標の実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 貸出冊数(冊) <p>市立図書館</p> <ul style="list-style-type: none"> R4: 82,742 (R3実績値 86,215) <p>カシオペアセンター図書室</p> <ul style="list-style-type: none"> R4: 5,065 (R3実績値 5,809)
適切な施設の維持管理を行い利用環境を整える		

項目	③シビックセンターの整備・充実 【生涯学習課】	
目的	令和4年度の実施状況	評価及び今後の方向性等
指定管理者と連携し、科学技術や芸術作品に市民が気軽に触れる機会の拡充に努める	<p>[継続]</p> <p>■幅広い内容の企画・展示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芸術作品等に触れる機会を創出するため、市内小学校の美術作品の展示をはじめ、多様な展示やイベントを行った。 <ul style="list-style-type: none"> 小さな美術館 田中館愛橘博士写真展 福岡高校美術部アート作品展 てのひらデザイン館2022 星空観望会 福田繁雄デザイン館企画展（第53、54回） <p>■施設の計画的改修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設設備の点検を行い、修繕等を行うことで環境整備を図った。 <ul style="list-style-type: none"> 空調設備修繕 ラウンジ自動水栓修繕 非常用照明等修繕 補給水ポンプ修繕 	<p>◎評価 【 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染症予防対策を講じながら、科学技術や芸術作品に触れる機会を創出したことで、気軽に作品に触れる機会の拡充につながった。 ・施設の改修等環境整備を行い、適切な整備を図ることができた。 <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各階の特性を活かした各種展示や新規事業を実施し、引き続き、市民が気軽に作品に触れる機会の拡充に努める。 ・施設点検を実施し、施設の改修を進める。

分野3 芸術文化の振興

施策 (1) 芸術文化の振興		
項目	①芸術文化団体・郷土芸能保存団体への活動支援	【生涯学習課・文化財課】
目的	令和4年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
地域の芸術文化の継承と活動団体の育成支援	<p>[継続]</p> <p>■芸術文化団体への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芸術文化団体の活動に対し補助金を交付した。 二戸市芸術文化協会 浄法寺芸能協会 二戸市民文士劇実行委員会 	<p>◎評価 【 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金の交付により、各支援団体の自主的な芸術文化活動の支援につながった。 <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民が主体となった芸術文化活動の継続支援に努める。
市民の芸術文化活動の発表の場とした文化祭の開催	<p>[継続]</p> <p>■二戸市文化祭の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市文化祭の開催について2団体へ委託した。 二戸会場 : 二戸芸術文化協会 浄法寺会場 : 浄法寺地区文化祭実行委員会 <p>【舞台公演】</p> <p>民謡・吹奏楽・合唱・演劇を実施した。 中止になった日本文化のつどいについては、代替えとして総合フェスティバルを実施した。</p> <p>【展示部門】</p> <p>市内5会場（市民文化会館、なにゃーと、二戸中央コミュニティセンター、金田一コミュニティセンター、浄法寺文化交流センター）で開催した。 入場者数：3,825人（対前年比920人増）</p> <p>【数値目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化祭の入場者数(人) R3：4,300 R7：4,300（R4達成率 89.0%） 	<p>◎評価 【 B 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染症予防対策を講じながら、地域文化の継承や市民が自主的に文化芸術活動に親しむための活動発表の場を提供することができた。 <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染症予防対策に配慮しながら、若い世代をはじめ幅広い年代の市民が芸術文化に親しみ体験、発表する機会の提供に努める。 <p>【数値目標の実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化祭の入場者数(人) R4：3,825（R3実績値 2,905）
市民の芸術文化活動の情報発信	<p>[継続]</p> <p>■芸術文化関連の情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民文化会館や浄法寺文化交流センターにおいて開催する芸術文化活動をはじめ、各団体による展覧会等について、広報にのへやホームページ、カシオペアFMにより情報発信を行った。 	<p>◎評価 【 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報にのへ等により芸術文化活動や展覧会等について周知を行うことで、市民に対し広く情報提供することができた。 <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民が気軽に芸術文化に参加できるよう複数媒体を活用した情報提供に努める。

目的	令和4年度の実施状況	評価及び今後の方向性等
郷土芸能団体の保存継承に努め、活動の活性化を図る	<p>[継続]</p> <p>■郷土芸能保存団体の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 市指定無形民俗文化財（民俗芸能）17団体のうち、活動をしている11団体に対し育成補助金を交付した。 <p>呑香稲荷神社神代神楽保存会 下斗米山伏神楽保存会 武内神社神楽保存会 坂本七ツ物保存会 金田一神楽保存会 深山神社神楽保存会 駒ヶ嶺新山神楽保存会 大森大神楽保存会 浄法寺七ツ物保存会 浄法寺鹿踊り保存会 似鳥神楽保存会</p> <ul style="list-style-type: none"> 文化財愛護少年団育成補助金を交付した。 下斗米文化財愛護少年団 <p>【数値目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 民俗芸能活動団体数（団体） R3：12 R7：12（R4達成率 100%） 	<p>◎評価 【 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> 多くの団体が後継者不足や財政的な課題がある中、補助金の交付により活動を支援することができた。 市郷土芸能祭等や各保存団体においては、地元神社、学校等で郷土芸能活動を実施した。 <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き、財政的支援を行い、郷土芸能祭の開催支援などと併せて、郷土芸能について市民への周知を図る。 後継者の確保など各団体が抱える課題について、連絡協議会などの場で協議検討を行い課題解決へつなげる。 <p>【数値目標の実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 民俗芸能活動団体数（団体） R4：12（R3実績値 13）
郷土芸能祭の開催を支援し、郷土芸能活動の活性化を図る	<p>[継続]</p> <p>■二戸市郷土芸能祭の開催支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 二戸市郷土芸能祭 8団体が出演 二戸地区郷土芸能発表会 呑香稲荷神社神代神楽保存会が参加 北緯40° ナニャトヤラ連邦郷土芸能交流祭 天台寺舞楽保存会が参加 	<p>◎評価 【 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> コロナ禍により令和2年度からの2年間は中止だったが、市及び地区の郷土芸能祭、北緯40° ナニャトヤラ連邦郷土芸能交流祭に参加することができた。 <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> 郷土芸能祭の開催支援や各種イベント出演情報の提供を行う。

項目 ②芸術文化に親しむ機会の充実 【生涯学習課】		
目的	令和4年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
優れた芸術文化の鑑賞の機会を提供するため、舞台や音楽などの鑑賞事業を開催	<p>[継続]</p> <p>■芸術鑑賞事業の実施 【自主文化事業の開催】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中学生を対象とした映画鑑賞（学校鑑賞事業）や一般等を対象とした演劇、ロビーコンサートを実施した。 ・浄法寺文化交流センターでは一般を対象とした民謡発表会を実施した。 <p>【数値目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芸術鑑賞事業入場者数(人) R3：6,300 R7：5,900（R4達成率 125.6%） 	<p>◎評価 【 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主文化事業は、開催内容の変更や人数制限等工夫を凝らして実施。安全に芸術文化に親しむ機会を提供することができた。 <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもから大人まで、市民が優れた芸術文化を鑑賞する機会の提供に努める。 <p>【数値目標の実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芸術鑑賞事業入場者数(人) R4：7,410（R3実績値 5,548）
芸術文化に触れる機会と展示会などの発表の場を提供	<p>[継続]</p> <p>■芸術文化の発表の場の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芸術文化活動の発表の場として、文化会館のエントランスやシビックセンターの市民ホールを展示に活用できる案内や市民参加型事業の紹介を行った。 <p>■芸術文化団体と連携した体験型事業の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・にのへアートギャラリー事業を開催した。 委託先：二戸市芸術文化協会 内容：市内在住及び市出身芸術家の全国または県レベルのコンクール受賞作品等の展示 出展者数：23名 32点 来場者数：306名 	<p>◎評価 【 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内芸術文化団体へ芸術文化の発表の場の提供を行うことができた。 ・市民文化会館でのにのへアートギャラリーを開催し、市民が優れた芸術に触れる機会を提供することができた。 <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気軽に芸術文化に親しみ参加できる機会の創出を図りながら、市民の芸術文化活動の発表の場の提供に努める。
項目 ③文化施設の整備・充実 【生涯学習課】		
目的	令和4年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
芸術文化の拠点施設の維持管理	<p>[継続]</p> <p>■市民文化会館リフレッシュ事業 市民文化会館外壁改修工事</p> <p>■浄法寺文化交流センターリフレッシュ事業 消防設備改修工事 受水槽天井保温材・カバー交換修繕</p>	<p>◎評価 【 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画に基づき外壁改修工事や修繕を実施し、利用者の安全性を確保できた。 <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特殊建築物定期検査及び施設の改修を進め、利用しやすい環境づくりに努める。
魅力ある自主事業の開催、芸術文化に対する多様なニーズの把握と情報発信	<p>[継続]</p> <p>■魅力ある自主事業の開催と情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民が気軽に参加し、芸術文化に親しむことができる市民参加型事業を開催した。また、広報にのへ等を活用し、催事について情報発信した。 <p>スプリングフェスティバル グランドピアノ開放月間 ロビーコンサート ワークショップ（合唱） 秋のアートフェスタ 舞台裏探検ツアー ニューイヤーミュージックフェスティバル 和太鼓と舞踏の世界 つるし雛まつり展</p>	<p>◎評価 【 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民が、芸術文化事業に気軽に参加する機会を提供することができた。 ・広報にのへやカシオペアFMなどの複数媒体を活用し情報発信することにより、市民の参加を促すことができた。 <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者からのアンケートを参考に更に魅力的な自主事業を開催する。

施策 (2) 文化財の保護と活用		
項目	①史跡九戸城跡の保護と活用 【文化財課】	
目的	令和4年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
史跡九戸城跡指定地の公有化	<p>[継続]</p> <p>■史跡九戸城跡土地買上事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 史跡九戸城跡の公有化対象地2筆(488.46㎡)の公有化を実施した。 公有化計画総面積 200,810.18㎡ 公有化済面積 185,170.14㎡ 公有化率 92.21% 	<p>◎評価 【 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和4年度当初に予定していた公有化をすべて完了した。 <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> 追加指定された在府小路地区も含め、公有化対象地の地権者の意向確認、買上計画を策定し協議を進める。
史跡九戸城跡の歴史公園整備	<p>[継続]</p> <p>■史跡九戸城跡環境整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 史跡九戸城跡の第2期整備実施設計(二の丸土塁)を策定した。 本丸・二の丸地区の整備工事を実施した。 整備指導委員会を開催(2回) 【協議内容】 第2期整備実施設計 発掘調査の検討(石沢館) <p>【数値目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 史跡九戸城跡第2期整備事業進捗率(%) R3: 18 R7: 100 (R4達成率 44.0%) 	<p>◎評価 【 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> 実施設計、整備工事は完了し、本丸及び二の丸の一部について供用開始することができた。 整備指導委員会を開催し、適切な史跡の保護、活用の方向性を確認した。 <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> 第2次整備基本計画に基づき、整備指導委員会の指導のもと、計画的に史跡整備を進めていく。 <p>【数値目標の実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 史跡九戸城跡第2期整備事業進捗率(%) R4: 44 (R3実績値 43)
史跡九戸城跡の保護、活用	<p>[継続]</p> <p>■史跡九戸城跡保護活用事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 南部「御城印」プロジェクトに伴う御城印を販売した。 九戸城を活かす会へ補助金を交付した。 <p>■九戸城情報発信・活用事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 史跡九戸城跡パンフレットの増刷等により、情報発信を行った。 <p>■史跡施設等維持管理事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 地元町内会等の協力を得て、九戸城跡等の適切な維持管理に努めた。 史跡九戸城跡維持管理業務委託 九戸城跡ガイドハウス窓口業務委託 <p>【数値目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 史跡九戸城跡年間来訪者数(人) R3: 8,500 R7: 8,500 (R4達成率 72.9%) 	<p>◎評価 【 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> パンフレットの配布、御城印の販売、続日本100名城スタンプなどにより、九戸城跡の認知度は向上しており、九戸城跡への来訪者数については増加傾向にある。 <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き、環境整備事業と併せて適切な保護、活用に努め、九戸城跡の認知度の向上に努める。 <p>【数値目標の実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 史跡九戸城跡年間来訪者数(人) R4: 6,197 (R3実績値 6,191)

②その他の文化財の保護と活用 【文化財課】		
項目	令和4年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
文化財等の保護・活用	<p>[継続]</p> <p>■文化財保護事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二戸市文化財調査委員会議の開催（1回） ・「折爪岳のヒメボタル生息地」保存活用計画の策定検討 ・市指定有形文化財の悉皆調査（21件） ※調査済み 62件/62件中 ・県指定有形文化財の指定（1件） （紙本墨書 天台寺本堂再興勸進帳） ・市指定有形文化財の指定（1件） （木造 厩猿像一対） ・市指定文化財の修理（1件） （大宮神社 金剛力士像） 	<p>◎評価 【 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化財調査委員会議を開催したほか、指定文化財悉皆調査、指定候補文化財調査を実施し、適切に文化財の保護、活用を図った。 ・県有形文化財1件、市指定有形文化財1件を指定し、市指定文化財1件の保存修理を実施することができた。 <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「折爪岳のヒメボタル生息地」保存活用計画策定を進め、適切な保護、活用に努める。 ・市指定文化財悉皆調査、指定候補案件は引き続き実施し、今後は未指定文化財の悉皆調査も計画する。
埋蔵文化財包蔵地の保護	<p>[継続]</p> <p>■埋蔵文化財発掘調査事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内遺跡発掘調査事業を実施した。 【個人住宅】在府小路遺跡（39次）、駒焼場遺跡（2件）（計3件） 【史跡調査】史跡九戸城跡：石沢館他（1件） 【民間開発】なし 【公共事業】前小路遺跡、上里遺跡群、米沢遺跡群長瀬下平遺跡（計3件） 	<p>◎評価 【 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・円滑かつ適切に発掘調査を実施し、埋蔵文化財包蔵地の記録保存を行うことができた。 <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も適切な調査に努める。 ・現地説明会や発掘調査報告会等を開催し、発掘調査及び遺跡の価値等について、理解度を深める取り組みを行う。
文化財保護の普及	<p>[継続]</p> <p>■埋蔵文化財保存活用事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験学習の開催 「縄文土器接合体験」 ・スポット展示の開催 「ミニチュア土器」 ・市民歴史講座の開催（全4回） 「地域の歴史から城館を探る」 ・発掘調査報告会の開催 講演 「縄文人の祈りについて」 報告 史跡九戸城跡、晴山遺跡、米沢遺跡群 <p>【数値目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・埋蔵文化財センター入館者数(人) R3：1,000 R7：1,000（R4達成率 145.6%） 	<p>◎評価 【 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験学習を通じて、参加者に埋蔵文化財について理解を深めることができた。 ・スポット展示を実施することにより、発掘調査成果を市民に対して効果的に公開することができた。 ・市民歴史講座は4回開催し、地域の歴史の理解を深めることができた。 <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査報告会の開催、体験学習の企画、企画展の開催など埋蔵文化財の活用を推進する。 <p>【数値目標の実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・埋蔵文化財センター入館者数(人) R4：1,456（R3実績値 1,003）

施策 (3) 郷土への誇りと愛着を深める地域文化の継承		
項目 ①歴史民俗資料の活用 【文化財課】		
目的	令和4年度の実施状況	評価及び今後の方向性等
歴史民俗資料の収集、保存、調査	<p>[継続]</p> <p>■歴史民俗資料の収集、調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民俗資料等の収集、調査研究、各種照会への対応を行った。 	<p>◎評価 【 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民俗資料の収集、調査研究を進めることができた。 <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民等に郷土史の理解を深めてもらうため、引き続き、民俗資料等の収集と調査研究を進める。
歴史民俗資料の効果的な保存・活用を目指し、施設環境の整備に取り組む	<p>[継続]</p> <p>■資料館、収蔵庫の環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民連携によるまちづくりのなかで、両資料館及び重要文化財収蔵庫の整備の方向性について検討した。 	<p>◎評価 【 C 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料館、収蔵庫の環境整備の必要性は認識しているものの、現時点においては、具体的な整備手法は未定となっている。 <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史民俗資料の効果的な保存・活用ができるよう、整備手法を検討する。
歴史民俗資料を活用し、市民等に郷土史学習の機会を提供する	<p>[継続]</p> <p>■資料館、収蔵庫の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料館、収蔵庫で保管している民俗資料等を活用し、企画展を開催した。 <p>【二戸】</p> <p>記念企画展 相馬大作没後200年記念企画展 記念講演会 「相馬大作の蝦夷地探査と津軽侯要撃事件の真相」 特別ミニ企画展 「作家 渡辺喜恵子という人」</p> <p>【浄法寺】</p> <p>スポット展示 「南部箔椀と新収蔵資料」</p> <p>【数値目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二戸歴史民俗資料館入館者数(人) R3 : 1,000 R7 : 1,000 (R4達成率 45.8%) ・浄法寺歴史民俗資料館入館者数(人) R3 : 800 R7 : 800 (R4達成率 91.1%) 	<p>◎評価 【 B 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史民俗資料館の入館者は、コロナ禍により目標値に対し二戸が約半数にとどまったが、浄法寺は目標値を概ね達成できた。 ・記念講演会・企画展の開催により、参加者に郷土史の理解を深めてもらうことができた。 <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、多くの人が資料館を活用できるよう、講座や企画展を開催していく。 <p>【数値目標の実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二戸歴史民俗資料館入館者数(人) R4 : 458 (R3実績値 516) ・浄法寺歴史民俗資料館入館者数(人) R4 : 729 (R3実績値 797)
項目 ②市史編さん事業の推進 【生涯学習課】		
目的	令和4年度の実施状況	評価及び今後の方向性等
市に関する史料の調査研究をしながら史実をまとめ、二戸市史を刊行し、市民への周知を図る	<p>[継続]</p> <p>■史料叢書の継続発刊</p> <ul style="list-style-type: none"> ・史料叢書第二十三集「藩政期の二戸 福岡 浄法寺6」を発刊し、二戸史料叢書別冊第二巻「二戸市の地名」を増刷した。 <p>■ホームページ等を活用した市史の紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発刊されている市史をホームページで内容を紹介している。また、昨年度に発刊した史料叢書第二十二集「藩政期の二戸 福岡 浄法寺V」については広報にのへを活用し、周知した。 	<p>◎評価 【 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書籍発刊をホームページや広報にのへにより周知したほか、市史編さん専門員によるカシオペアFMの出前講座においても史料叢書を紹介できた。 <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内に現存する史料は多数あり、継続して史料の読解整理を進め、史料叢書等にまとめる。 ・広報にのへ、ホームページのほか、出前講座等を活用し、市史の紹介を継続する。

分野4 スポーツの推進

施策 (1) ライフステージに応じたスポーツ活動の推進																						
項目	①生涯スポーツと健康づくりの推進 【生涯学習課】																					
目的	令和4年度の取組状況	評価及び今後の方向性等																				
市民がそれぞれのライフステージでスポーツを楽しめる活動の場の提供を図る	<p>[継続]</p> <p>■各種スポーツ大会、教室の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> 市体育協会や体力づくり振興会等と連携し、大会や教室を開催した。 <table border="0"> <tr> <td>市民総参加スポーツ大会</td> <td>127人</td> </tr> <tr> <td>市内少年野球大会</td> <td>4チーム</td> </tr> <tr> <td>ナイタースポーツ</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>柔道・剣道教室</td> <td>30人</td> </tr> <tr> <td>ニュースポーツ交流大会</td> <td>100人</td> </tr> <tr> <td>体力づくり野球大会</td> <td>176人</td> </tr> <tr> <td>水中運動教室</td> <td>44回 604人</td> </tr> <tr> <td>市民水泳大会</td> <td>45人</td> </tr> <tr> <td>市内スキー選手権大会</td> <td>22人</td> </tr> <tr> <td>体カテスト</td> <td>25人</td> </tr> </table>	市民総参加スポーツ大会	127人	市内少年野球大会	4チーム	ナイタースポーツ	2人	柔道・剣道教室	30人	ニュースポーツ交流大会	100人	体力づくり野球大会	176人	水中運動教室	44回 604人	市民水泳大会	45人	市内スキー選手権大会	22人	体カテスト	25人	<p>◎評価 【 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> コロナ禍においても関係団体と協議のうえ、感染対策を徹底しながら7つの大会等を開催。市民のスポーツ活動の機会を創出できた。 <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全にスポーツ活動ができる機会の提供に努める。
市民総参加スポーツ大会	127人																					
市内少年野球大会	4チーム																					
ナイタースポーツ	2人																					
柔道・剣道教室	30人																					
ニュースポーツ交流大会	100人																					
体力づくり野球大会	176人																					
水中運動教室	44回 604人																					
市民水泳大会	45人																					
市内スキー選手権大会	22人																					
体カテスト	25人																					
各種大会の開催情報、結果情報を発信し、スポーツに対する意識の高揚に努める	<p>[継続]</p> <p>■「広報にのへ」やホームページ等を活用した情報提供</p> <ul style="list-style-type: none"> 市体育協会をはじめ、各競技団体と連携を図り各種大会の開催や実施結果の報告を受ける方式に変更し、広報にのへやホームページにより周知を図った。(お知らせ号へ毎月掲載) 	<p>◎評価 【 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各競技団体等へ掲載の呼びかけを行ったことにより、これまで掲載できていなかった団体からの掲載依頼を受けることができた。 <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> より多くの情報提供が得られるよう、関係団体への周知を図り、スポーツに対する意識の高揚に努める。 																				
項目	②地域のスポーツ環境の整備 【生涯学習課】																					
目的	令和4年度の取組状況	評価及び今後の方向性等																				
市民が主体的にスポーツ活動に取り組むことができるよう、学校体育施設を開放し環境整備に努める	<p>[継続]</p> <p>■学校体育施設開放事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校の体育施設を開放することにより、スポーツ活動に取り組みやすい環境づくりに努めた。 <p>【利用実績】</p> <table border="0"> <tr> <td>利用申込団体数</td> <td>: 18団体</td> </tr> <tr> <td>利用施設数</td> <td>: 8施設</td> </tr> <tr> <td>利用延べ回数</td> <td>: 363回</td> </tr> <tr> <td>利用者延べ人数</td> <td>: 3,992人</td> </tr> </table> <p>【数値目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校開放事業の利用の割合 (利用延べ人数/市の人口 %) <table border="0"> <tr> <td>R3</td> <td>: 20.0</td> </tr> <tr> <td>R7</td> <td>: 20.0 (R4達成率 80.5%)</td> </tr> </table>	利用申込団体数	: 18団体	利用施設数	: 8施設	利用延べ回数	: 363回	利用者延べ人数	: 3,992人	R3	: 20.0	R7	: 20.0 (R4達成率 80.5%)	<p>◎評価 【 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> コロナ禍においても、学校体育施設を開放し、市民がスポーツ・レクリエーションに親しむ環境整備が図られた。 <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き、市民がスポーツやレクリエーションに親しむことができるよう、学校体育施設を開放し、環境整備に努める。 <p>【数値目標の実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校開放事業の利用の割合 (利用延べ人数/市の人口 %) <table border="0"> <tr> <td>R4</td> <td>: 16.1 (R3実績値 20.0)</td> </tr> </table>	R4	: 16.1 (R3実績値 20.0)						
利用申込団体数	: 18団体																					
利用施設数	: 8施設																					
利用延べ回数	: 363回																					
利用者延べ人数	: 3,992人																					
R3	: 20.0																					
R7	: 20.0 (R4達成率 80.5%)																					
R4	: 16.1 (R3実績値 20.0)																					

目的	令和4年度の実施状況	評価及び今後の方向性等
<p>スポーツ振興を図るため、各種スポーツ団体や指導者の育成について支援を行う</p>	<p>[継続]</p> <p>■各種スポーツ団体及び指導者の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 各種スポーツ団体の活動に対し、補助金支援のほか、スポーツ指導者向け研修会を開催した。 <p>【補助金】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市体育協会補助金 市スポーツ少年団補助金 市体力づくり振興会補助金 浄法寺地区体育祭実行委員会補助金 <p>【研修会】</p> <ul style="list-style-type: none"> スポーツ少年団指導者研修会 <p>■スポーツ推進委員の活動機会の拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> 市スポーツ推進委員協議会では、コロナ対策を徹底し、スポーツイベントを運営した。 <p>【運営（従事）事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ニュースポーツ交流大会(シャフルボード) 市民総参加スポーツ大会(シャフルボード) 指導者派遣(カローリング) 二戸地区生涯スポーツ交流会(なぎなた) <p>【数値目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市登録スポーツ少年団指導者数の割合(指導者数/団員数 %) R3: 21.0 R7: 21.0 (R4達成率 75.2%) 	<p>◎評価 【 B 】</p> <ul style="list-style-type: none"> 補助金支援により各種スポーツ団体の育成支援が図られたほか、指導者研修の実施によりスポーツ振興を進める上での指導者育成が図られた。 スポーツ推進委員のニュースポーツへの参加機会の確保と研修によりスポーツを支える人材育成が図られた。 <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> 各種スポーツ団体及び指導者の育成について支援を継続し、スポーツ振興が図られるよう努める。 <p>【数値目標の実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市登録スポーツ少年団指導者数の割合(指導者数/団員数 %) R4: 15.8 (R3実績値 15.4)
<p>項目 ③多種・多様なスポーツ団体の育成 【教育企画課・生涯学習課】</p>		
目的	令和4年度の実施状況	評価及び今後の方向性等
<p>児童生徒の文化・体育活動を支援する</p>	<p>[継続]</p> <p>■小中学校文化・体育大会出場費補助事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 小学生(6団体12大会)と中学生(7団体47大会)に対し、大会出場に必要な経費の一部を補助した。 	<p>◎評価 【 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> 県大会以上へ勝ち進んだ団体等へ補助することで、経済的負担軽減と文化・体育活動の振興につながった。 <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き、学校や各競技団体へ制度周知を図りながら、大会出場等に係る支援を行う。
<p>活動を支援するため、各種団体等と連携に努め、選手の育成と競技力向上を図る</p>	<p>[継続]</p> <p>■各種大会開催補助事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 2団体に対し、県大会以上の大会開催に係る経費の一部を補助した。 <p>学童軟式野球大会新人大会岩手県大会補助金 岩手県民体育大会相撲競技補助金</p>	<p>◎評価 【 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> 申請のあった2団体に対し、大会開催に係る経費の一部を補助することにより、大会開催の支援を図るとともに、地元でのレベルの高い大会の開催により競技力の向上を図った。 <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き、各競技団体と連携を図りながら、大会運営に係る支援を行う。

施策 (2) 体育施設的环境整備		
項目 ①体育施設の整備・充実 【生涯学習課】		
目的	令和4年度の実施状況	評価及び今後の方向性等
継続的にスポーツ活動に取り組むことができるよう体育施設的环境整備に努める	<p>[継続]</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 体育施設の運動機器の修繕・更新 ■ 体育施設の整備・改修 <p>武道館床・屋根等改修工事 総合スポーツセンター受変電設備修繕工事 武道館トイレ改修工事</p>	<p>◎評価 【 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 施設修繕等により、市民が安心して利用できる環境整備が図られた。 <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 老朽化している施設が多くなってきていることから、各施設の点検を行い、より安全に利用できる環境整備に努める。

